



ヤドリギ

(2005年12月9日 撮影)

高い木の枝によくつくことから、木々の葉が少ない春や、秋の終わりから冬に見つけやすくなります。

このヤドリギの実をどこかで食べた鳥が、他の木の枝でフンをすることで、フンに残っていたヤドリギの種がその木に張り付き、木の幹に根を伸ばして寄生しながら生長していきます。

遠くから見ると、熊が木に登って作った「熊だな」に見えますが、この木の枝が折れていないことや木の幹に熊の爪痕が見当たらないなどで、ヤドリギだと判別することができます。



拡大したもの



熊だな